

令和 7 年度 第 1 回 まつやま未来コネクト 役員会

【日 時】 令和 7 年 10 月 3 日（金）

10：00～11：00

【場 所】 松山市教育研修センター3 階
中研修室

会 議 次 第

1. 第 7 次松山市総合計画の進行管理について
2. 第 6 次松山市総合計画及び
第 2 期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括
3. 人口減少対策・地方創生の取組について
 - （1）新しい地方経済・生活環境創生交付金の効果検証
 - （2）まつやま未来コネクトの活動について
4. その他

10年に1回作っている

市政の**最上位計画**

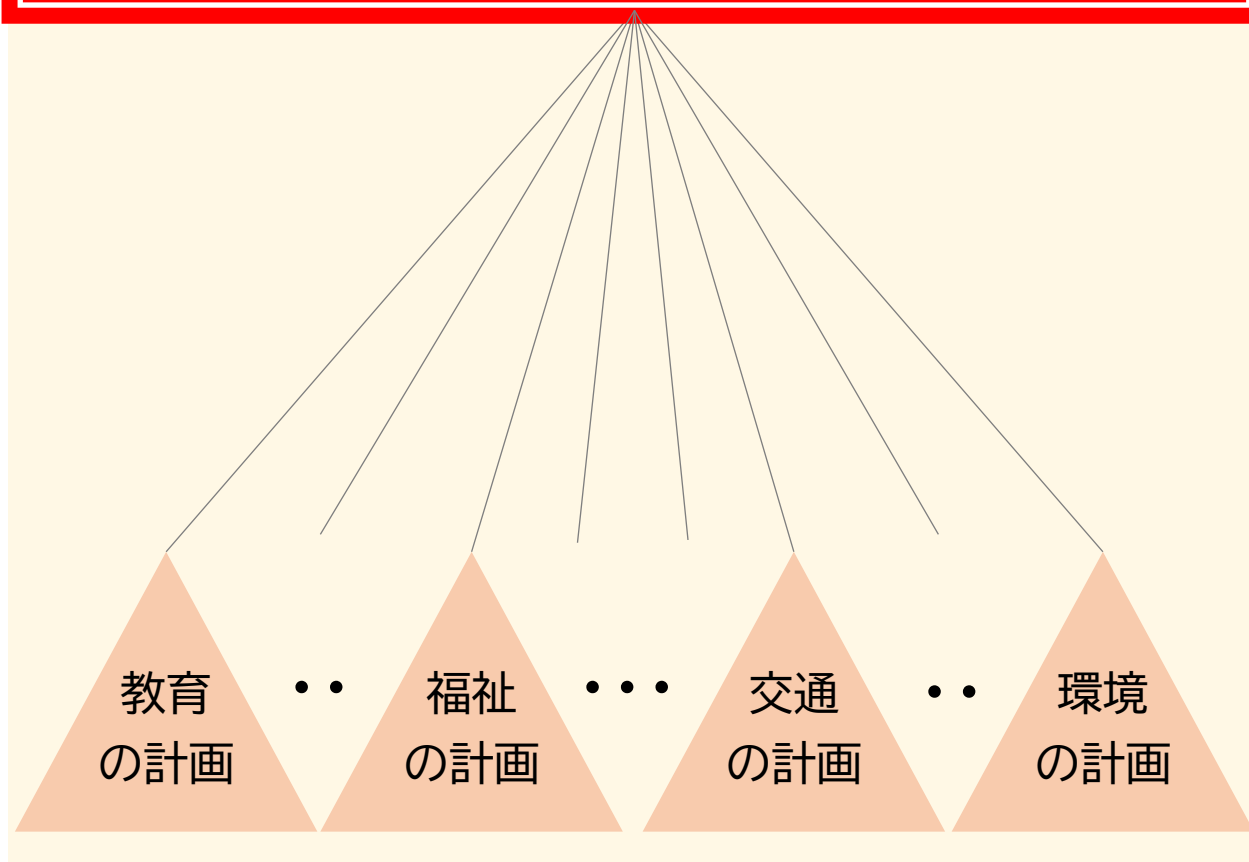
一言で言うと

松山市の未来を創る
設計図



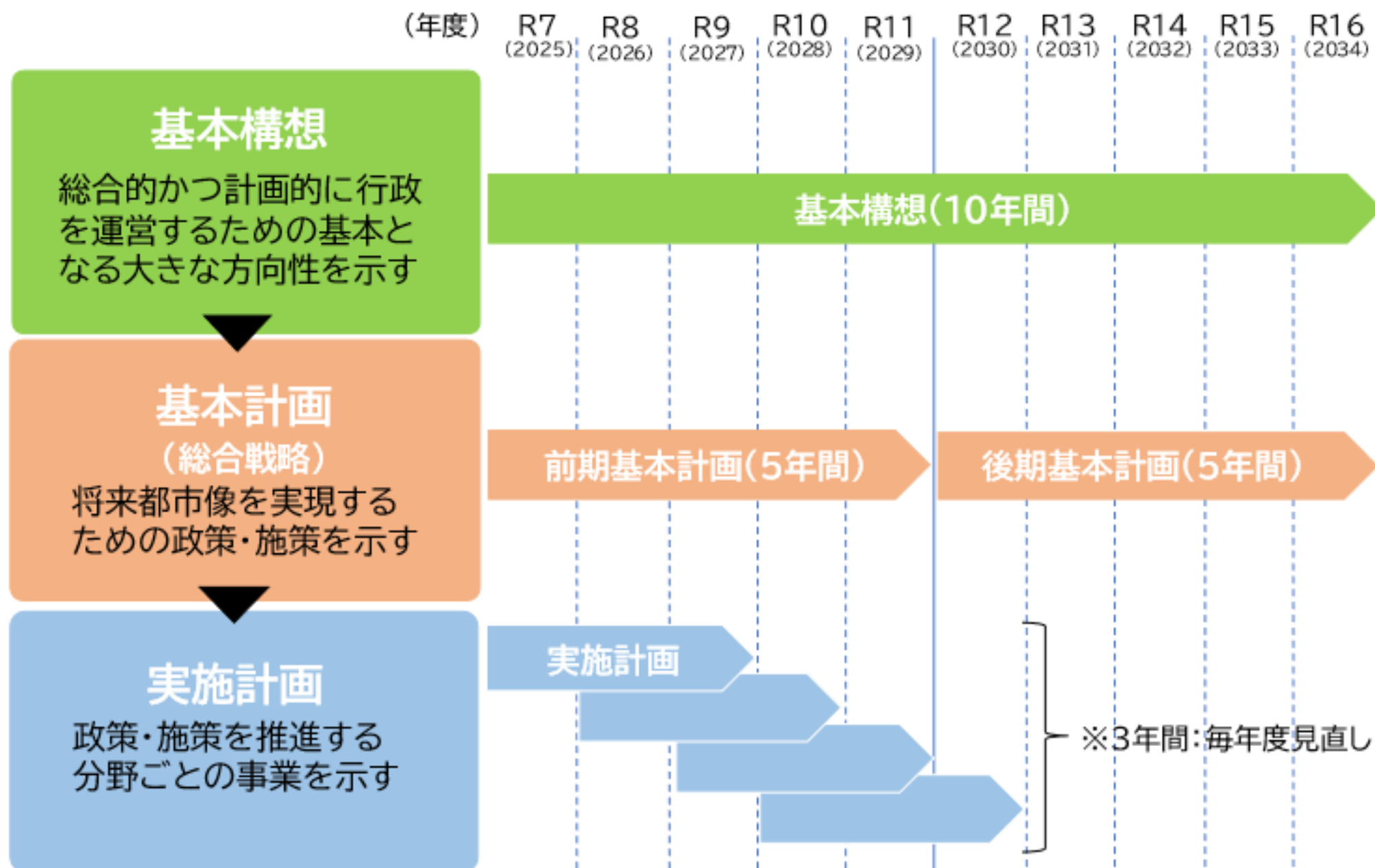
総合計画で示した方向に
各分野の取組が進んでいく

総合計画



第7次総合計画の期間が令和7年4月～スタート

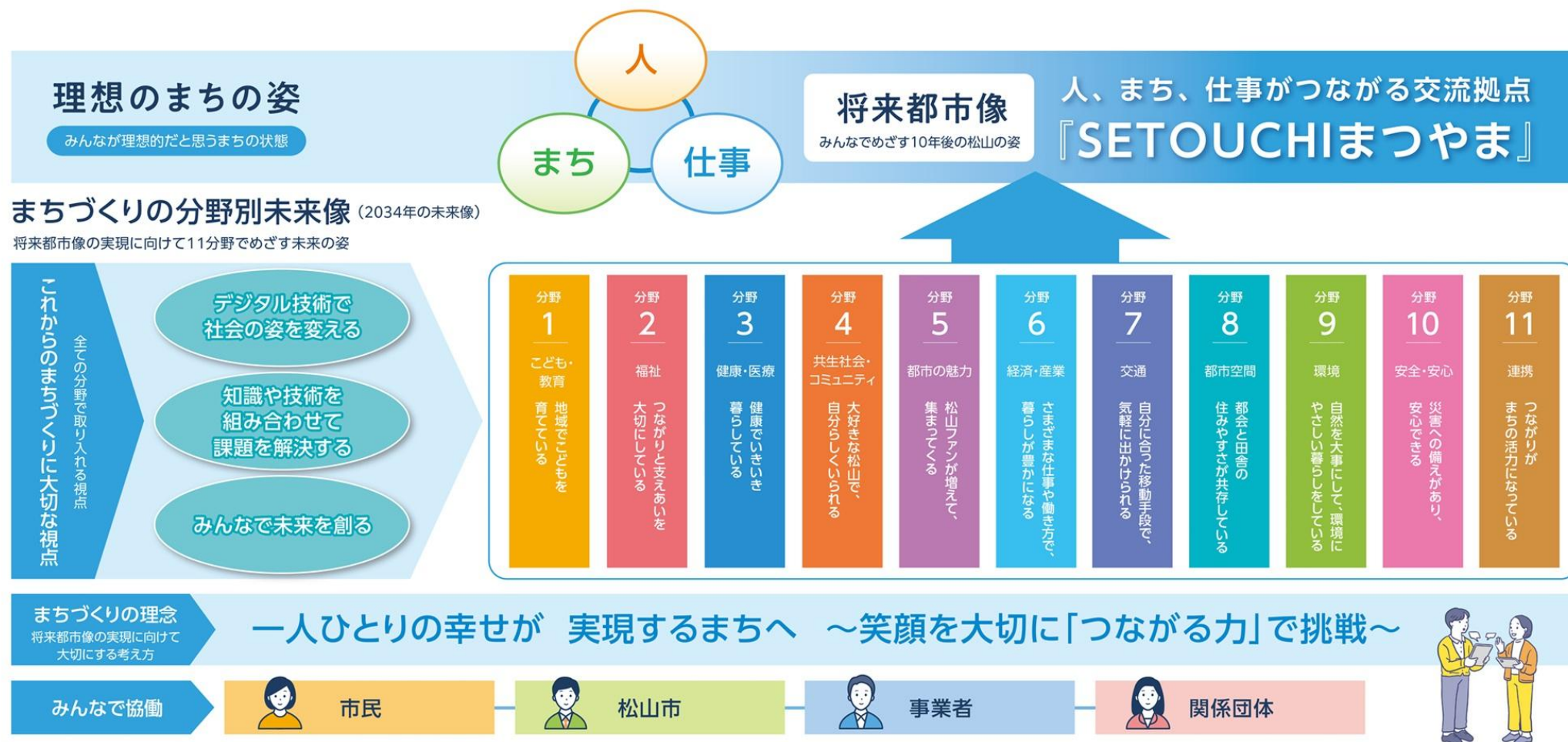
総合計画の構成と期間



第7次松山市総合計画の全体像

○将来都市像」の実現に向けて、**11の分野**ごとに目指す姿を「**まちづくりの分野別未来像**」として掲げている。

○行政だけでなく、市民や事業者、関係団体のみなさんなど、一人ひとりがまちづくりを自分事としてとらえて**協働**することが重要。

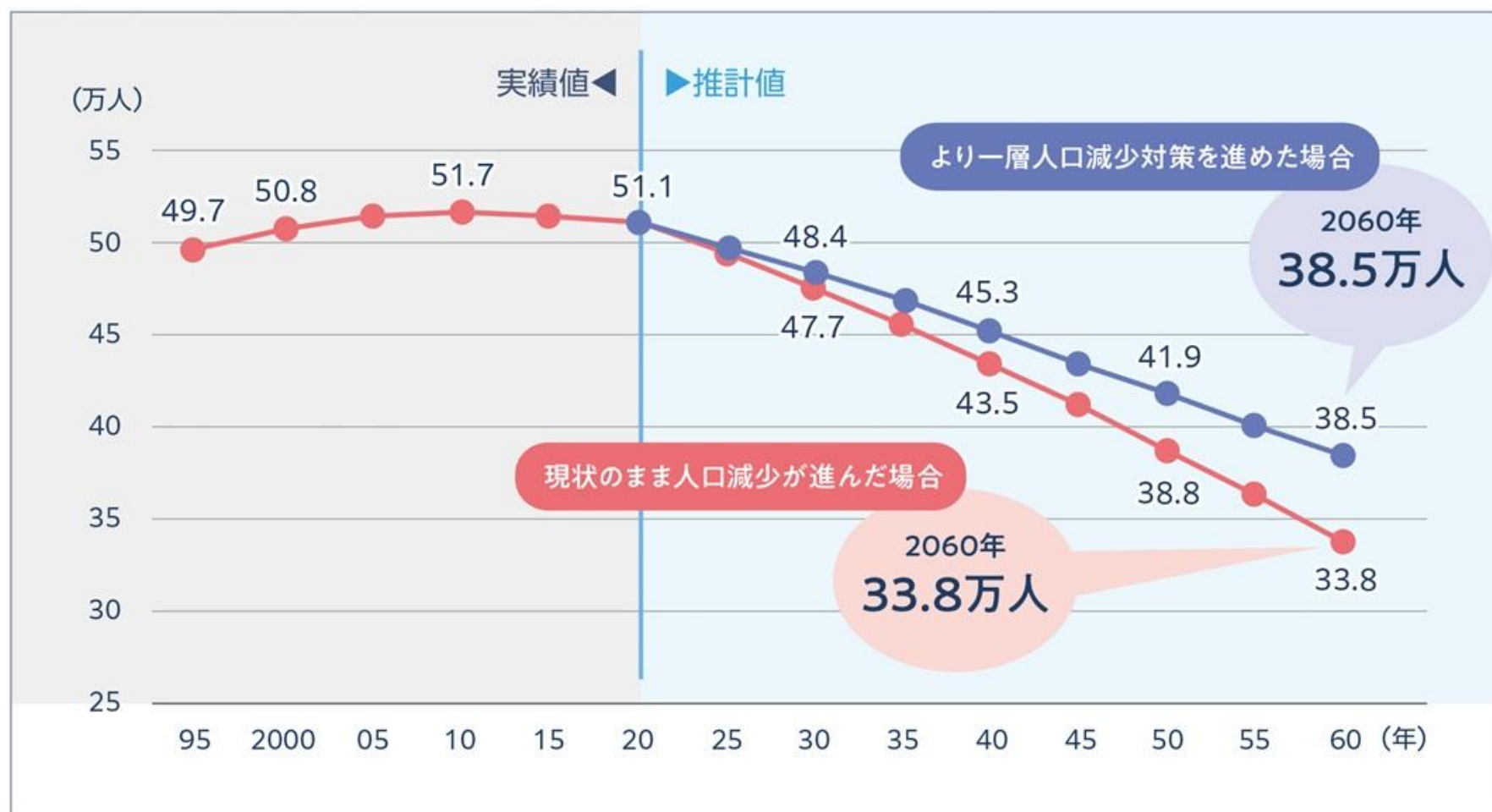


人口減少対策

○これまで人口減少対策の基本的計画として別に策定していた
「松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合

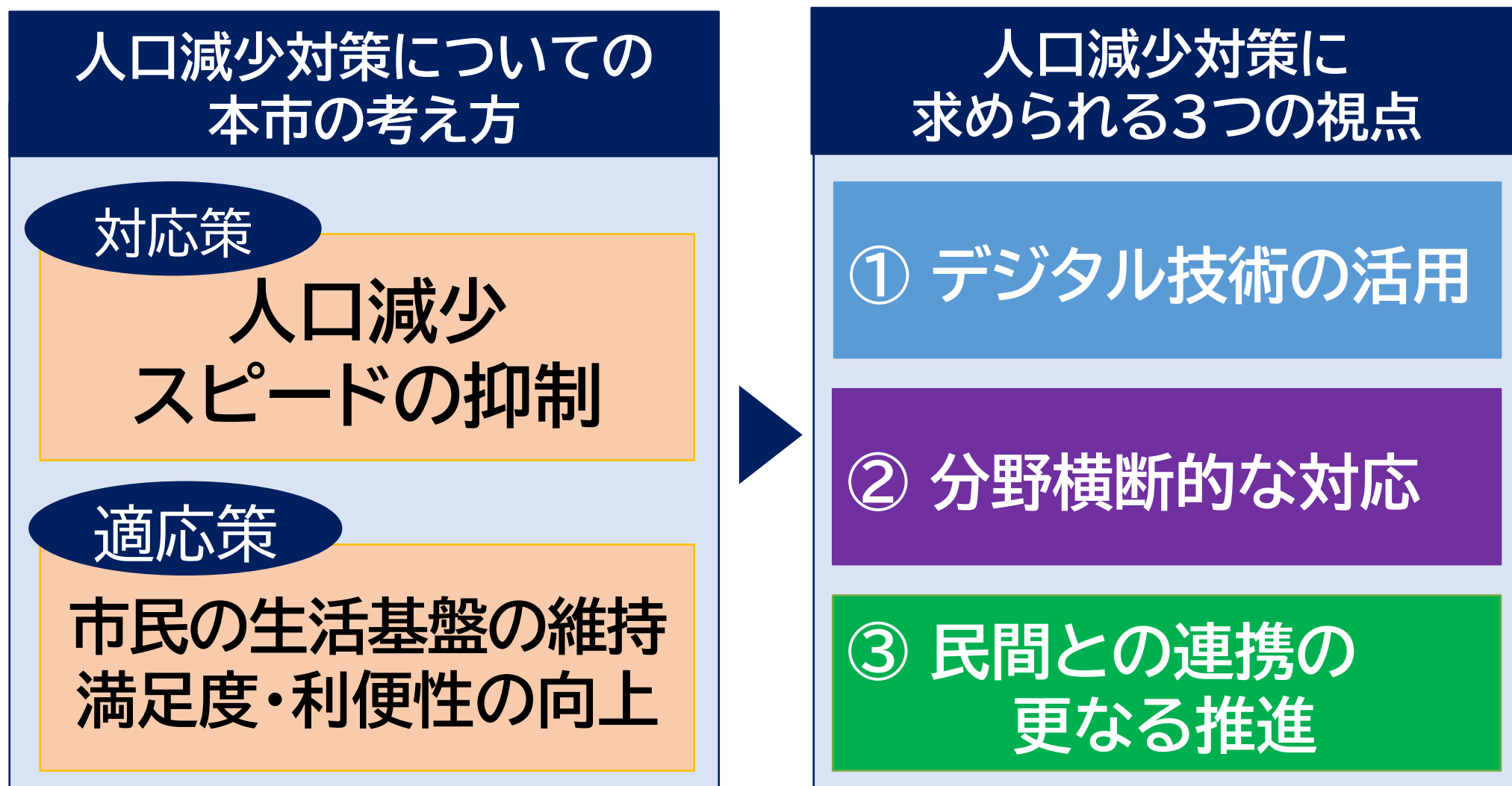
⇒人口減少対策を最重要事項に位置づけ

《参考:2060年の松山市の人口を推計してみると…》



人口減少対策に求められる3つの視点

- 対応策と適応策の両輪で
全ての政策分野に「3つの視点」を取り入れる



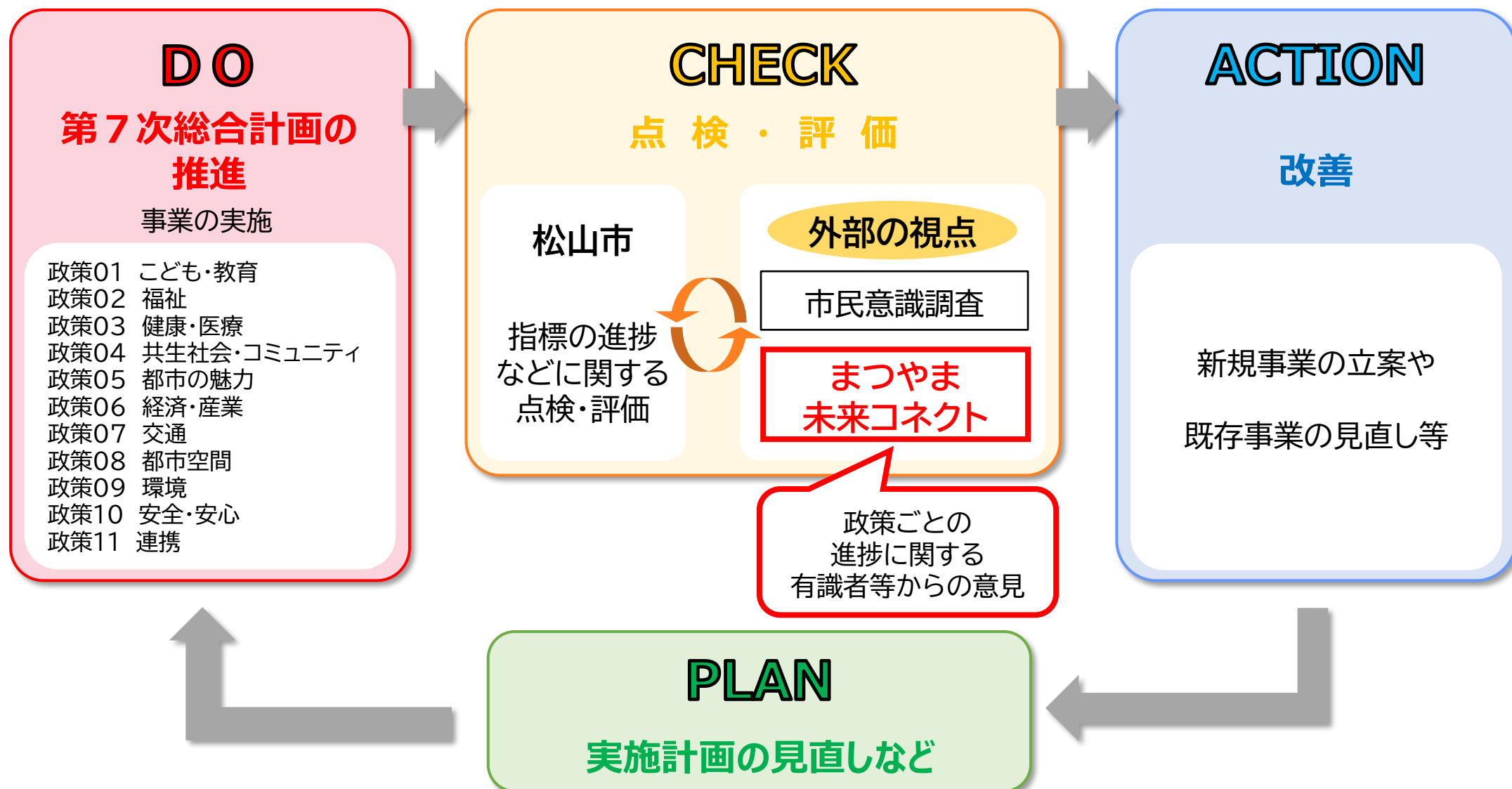
みんなでめざす計画

○政策別に、目指す未来像や**市民の実感指標**、市の取組を共有し、「みなさんに取り組んでほしいこと」を例示するとともに、「自分にもできること」を考えてもらう内容。

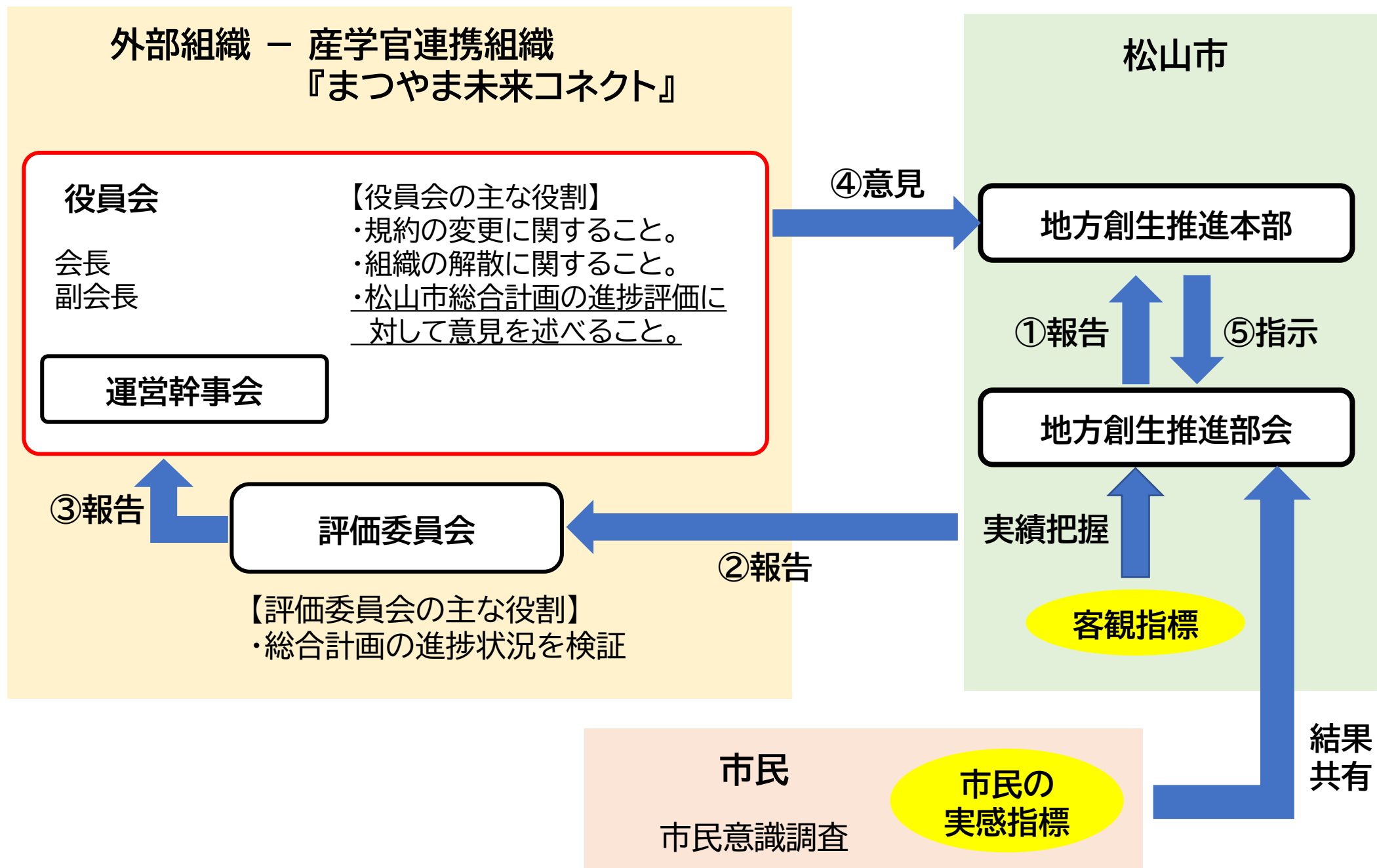


総合計画の進行管理

- 外部の視点を取り入れたPDCAサイクルを確立し実効性を高める。
- 毎年度市民や有識者等の意見を聴きながら達成状況を点検・評価。



第7次松山市総合計画の評価体制



資料編

指標一覧

前期基本計画に掲げた政策・施策ごとに設定した指標（P32～）は以下のとおりです。
政策別未来像の実現に向けて各指標の進行管理を行います。

政 策・・・政策ごとに「市民の実感指標」「客観指標」を設定

施 策・・・主な取組ごとに「成果指標」を設定

政策 01 こどもを輝く未来へつなぐ【こども・教育】

政策別未来像 ▶ 地域でこどもを育てている				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
子育てしてよかったと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、こどもがいる人のうち、設問「あなたは子育てしてよかったと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		95.6 〔R 6年度〕
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
合計特殊出生率（一）		一人の女性が一生の間に出産するとされるこどもの数。	1.25 〔R 4年〕	1.41 〔R 9年〕
施策 011 結婚・出産を望む人への支援				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0111	市の出会い・交流事業のイベントでのカップル成立数（組）	本市単独及び周辺市町と連携したイベントや市の補助金で実施したイベントで成立したカップルの数。	59 〔R 5年度〕	60
0112	出産後に受けた公的な保健指導・ケアに対し満足している者の割合（％）	産後、助産師・保健師等から指導・ケアを十分に受けたと感じる市民の割合。	92.7 〔R 5年度〕	93.0 以上
施策 012 切れ目のない子育て支援				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0121	まつやま こども・子育てサイト「にこっと」のアクセス数（回）	まつやま こども・子育てサイト「にこっと」へのアクセス数。	104,485 〔R 5年度〕	120,000
0122	保育所等待機児童数（人）	毎年4月1日現在で入所要件に該当し、入所申込書が提出されているが入所できていない人数。	0 〔R 6年度〕	0
0123	家事・育児等と仕事の両立に関する講座の男性参加者割合（％）	松山市男女共同参画推進センターで実施する各種講座への男性参加者の割合。	24.7 〔R 5年度〕	30.0
0124	こども相談や障がい児相談の相談件数（件）	こども相談や障がい児相談で受けた相談件数。	4,788 〔R 5年度〕	4,920
施策 013 学校教育の推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0131	「松山の授業モデル」を意識して授業を実施している学校の割合（％）	「松山の授業モデル」に基づく主体的・対話的で深い学びを意識して授業を実施している割合。	94.0 〔R 5年度〕	100
0132	「ふるさと松山学」を授業等で活用する小・中学校の割合（％）	「ふるさと松山学」を授業等で活用する小・中学校の割合。	100 〔R 5年度〕	100
0133	児童生徒のICTスキル習熟度割合（％）	児童生徒を対象とした愛媛県による調査で、ICTスキル習熟度が9項目すべてB評価以上（A～Dの4段階評価）の小学6年生の割合。	37.5 〔R 5年度〕	50.0
0134	特別支援教育指導員派遣相談のうち、就学前相談の割合（％）	特別支援教育指導員派遣相談のうち、各園等、各小中学校から受ける就学前相談件数の割合。	34.0 〔R 5年度〕	40.0

施策 014 こどもが主役のまちづくりの推進				
取組 番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11 年度)
0141	こどもからの意見を聞く機会 (回)	こども施策に関するアンケートやワークショップ、出前講座などで、こどもから意見を聞いた回数。	4 [R 6 年度]	5
0142	放課後児童クラブの待機児童数 (人)	毎年 5 月 1 日現在で児童クラブの利用を希望しているものの、入会できていないこどもの数。	130 [R 6 年度]	0
0143	保育の質の向上に関する研修会に参加した保育士等の人数 (人)	市が実施する市内の保育士等を対象とした研修会に参加した保育士等の数。	1,255 [R 5 年度]	1,255
0144	高校生との意見交換会への参加者数 (人) ※累計	コムズ (松山市男女共同参画推進センター) で実施する、男女共同参画分野での高校生との意見交換会に参加した人数。	28 [R 5 年度]	280
0145	部活動指導員・外部指導者の派遣人数 (人)	市内の各中学校に派遣した部活動指導員・外部指導者の人数。	109 [R 5 年度]	117
	放課後子ども教室や学校に対する多様な協力活動に関わった人数 (人) ※累計	放課後子ども教室の活動や、登下校の見守りなど学校に対する多様な協力活動に関わった人数。	24,506 [R 5 年度]	27,000

政策 02 人と人の支えあいをつなぐ【福祉】

政策別未来像 ▶ つながりと支えあいを大切にしている				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
地域や社会とのつながりを感じている市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは地域や社会とのつながりを感じていますか。」に対して、「感じる」と「どちらかといえば感じる」と回答した人を合わせた割合。		62.0 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
生きがいを感じる活動や社会活動等*に参加している高齢者の割合（％） *就労を含む		市民アンケートで、65歳以上のうち、設問「あなたは生きがいを感じる活動や社会活動等に参加していますか。」に対して、「参加している」と回答した人の割合。	40.6 [R 6年度]	52.5
施策 021 持続可能な社会保障制度の運営				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0211	多機関参加の会議開催数（回）	重層的支援体制整備事業をはじめとした、ひきこもり支援や孤独孤立対策など他分野の関係機関が参加する会議の開催回数。	3 [R 6年度]	3
0212	国民健康保険料収納率（％）	国民健康保険料の収納率。	94.4 [R 5年度]	94.5
施策 022 高齢者福祉の充実				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0221	アプリ利用者の対象イベント参加延べ人数（人）	健康増進を目的としたアプリ利用者の対象イベント参加者の延べ人数。	1,400 [R 6年度]	3,200
0222	愛の一声訪問事業利用者数（人）	乳酸菌飲料の配布による安否確認等の利用者数。	3,662 [R 5年度]	4,400
施策 023 障がい者福祉の充実				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0231	総合的、専門的な相談支援の実施件数（件）	障がい者に対し必要なサービスの提供や就労促進などに関する相談支援件数。	36,374 [R 5年度]	39,000
0232	福祉施設から一般就労に移行した障がい者の人数（人）	福祉施設利用者のうち、一般就労に移行した人数。	150 [R 5年度]	155
0233	民間事業者向けの意識啓発研修受講者数（人）	市が実施する発達障がい者の就労支援や障がい者差別解消法等をテーマとした民間事業者向け研修の受講者数。	72 [R 5年度]	140
施策 024 地域福祉の促進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0241	民生委員・児童委員の認知度（％）	民生委員・児童委員の活動を知っている市民の割合。	24.9 [R 6年度]	50.0
0242	福祉学習の受講者数（人）	市民を対象に実施するボランティア研修会等の受講者数。	8,631 [R 5年度]	11,600

政策 03 健康をつなぐ【健康・医療】

政策別未来像 ▶ 健康でいきいき暮らしている				
市民の実感指標		指標の説明	基準値	
医療体制が充実していると思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは松山市の医療体制が充実していると思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。	85.0 〔R 6年度〕	
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年)
健康寿命（年）		日常生活上の動作が自立している期間の平均。	男性 79.69 女性 84.30 〔R 4年〕	男性 80.09 女性 84.70 〔R 9年〕
施策 031 健康づくりの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0311	生活習慣病予防を意識した運動や食生活などを6か月以上継続している人の割合（％）	市民アンケートで、設問「あなたは生活習慣病予防を意識して、生活改善（運動や食生活など）に取り組んでいますか。」に対して、「取り組んでいる（6か月以上）」と回答した人の割合。	46.5 〔R 6年度〕	47.0
0312	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率（％）	前年度メタボリックシンドローム該当者または予備群であった人のうち、当該年度はメタボリックシンドローム該当者または予備群でなくなった人の割合。	18.9 〔R 5年度〕	25.0
施策 032 医療・保健・衛生体制の整備				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0321	救急医療需要に応じた一次、二次、三次救急医療が提供できる体制（％）	365日24時間のうち、救急医療需要に応じた一次・二次・三次救急医療を提供できる体制が維持されている割合。	100 〔R 5年度〕	100
0322	中島地域の24時間対応の初期医療が提供できる体制（％）	365日24時間のうち、中島地域の24時間対応の初期医療を提供できる体制が継続されている割合。	100 〔R 5年度〕	100
0323	結核罹患率（－）	人口10万人に対し、1年間で新たに診断された結核患者の割合。	10未満 〔R 5年度〕	10未満
0324	狂犬病予防注射接種率（％）	登録犬数に対する狂犬病予防注射接種済犬数の割合。	66 〔R 5年度〕	69
0325	食品衛生法違反件数（件）	市内の食品等取扱施設での、食中毒発生件数及び規格基準違反件数。	6 〔R 5年度〕	4以下

政策 04 自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】

政策別未来像 ▶ 大好きな松山で、自分らしくいられる				
市民の実感指標		指標の説明	基準値	
地域に愛着や誇りを感じている市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは住んでいる地域に愛着や誇りを感じていますか。」に対して、「感じる」と「どちらかといえば感じる」と回答した人を合わせた割合。	78.6 [R 6年度]	
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
地域活動*に参加している市民の割合（％） *地域でのボランティア、清掃活動、祭り、町内会・自治会、スポーツなど趣味のグループ活動などの通いの場等		市民アンケートで、設問「あなたは地域活動に参加していますか。」に対して、「参加している」と回答した人の割合。	35.1 [R 6年度]	42.5
施策 041 多様な価値観が認められるまちづくりの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0411	人権問題に関する学習会や研修会への参加者数（人）	人権問題に関する学習会や研修会への参加者数。	109,700 [R 5年度]	110,300
0412	審議会などに占める女性委員の割合（％）	市が設置する審議会の委員数のうち、女性委員が占める割合。	44.7 [R 5年度]	50.0
0413	中学生世界体験プロジェクト参加者数（人）※累計	（公財）国際交流協会が実施する異文化体験や国際交流の講座等に参加した中学生の人数。	219 [R 5年度]	1,119
0414	平和資料展の来場者数（人）	市が開催する平和資料展の来場者数。	4,199 [R 6年度]	5,000
施策 042 愛着と誇りが高まる地域づくりの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0421	『坂の上の雲』のまちづくりの認知度（％）	小説『坂の上の雲』を軸とした本市のまちづくりに対する認知度。	47.1 [R 5年度]	61.5
0422	俳句ポストの投句者数（人）	松山市内に設置された俳句ポストへの投句者のうち、松山市在住者数。	896 [R 5年度]	1,200
0423	松山城天守入場者数（人）	松山城天守に入場した人数。	479,096 [R 5年度]	516,000
0424	ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数（人）	ほしふるテラス姫ヶ浜を利用した人数。	10,421 [R 5年度]	11,000
0425	定住促進イベントの参加者数（人）	若者プロジェクトチーム（マツワカ）や移住者交流会の参加者数。	103 [R 5年度]	160
施策 043 地域活動・市民活動の活性化				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0431	住んでいる地域のまちづくり活動が盛んだと思う人の割合（％）	市民アンケートで、設問「あなたの住んでいる地域は地域活動が盛んだと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」と回答した人を合わせた割合。	68.6 [R 6年度]	73.6
0432	市民活動推進補助金交付団体数（団体）※累計	市 NPO 団体として登録し、市民活動推進補助金の交付を受けた団体数。	322 [R 5年度]	440
施策 044 生涯学習、生涯スポーツ・文化芸術活動の推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0441	生涯学習に関する講座参加者数（人）※累計	公民館が開催する講座への参加者数。	40,161 [R 5年度]	52,000
0442	公民館対抗スポーツ大会の参加者数（人）	公民館対抗のスポーツ大会に参加した人数。	1,380 [R 5年度]	2,600
0443	文化芸術の鑑賞や活動をしている市民の割合（％）	市民アンケートで、設問「あなたは、生活の中で文化芸術活動（鑑賞と実践のどちらでも可）を行っていますか。」に対して、「よく行っている」と「ときどき行っている」と回答した人を合わせた割合。	31.3 [R 6年度]	36.0

政策 05 ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】

政策別未来像 ▶ 松山ファンが増えて、集まってくる				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
松山市の魅力を友人や知人に紹介したいと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは松山市の魅力を友人や知人に紹介したいと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		74.1 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
観光客推定数（人）		本市を訪れた観光客の数。	5,555,500 [R 5年]	6,200,000 [R11年]
外国人観光客推定数（人）		本市を訪れた外国人観光客の数。	216,000 [R 5年]	320,000 [R11年]
観光客推定消費額（億円）		本市を訪れた観光客が市内で消費した合計額。	673 [R 5年]	830 [R11年]
施策 051 人と仕事を呼び込む情報発信				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0511	ブランディングサイトのアクセス数（件）※累計	「第2期松山市都市ブランド戦略」のブランディングサイトのアクセス数。	—	250,000
0512	公式観光Instagramのフォロワー数（人）	松山市公式観光Instagramをフォローしている人数。	5,711 [R 5年度]	17,000
0513	移住に関する相談人数（人）	移住検討者に対して松山暮らしの情報を提供し、相談対応を行った人数。	1,379 [R 5年度]	1,680
施策 052 人を引き付けるまちの魅力向上				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0521	市内宿泊者数（人）	市内の宿泊施設に宿泊した人数。	2,378,800 [R 5年]	2,700,000 [R11年]
0522	俳句や短歌に関する大会への投句数、出詠数（句・首）	「子規顕彰全国俳句大会」「子規顕彰松山市小中高校生俳句大会」の投句数及び「子規顕彰全国短歌大会」の出詠数。	17,321 [R 5年度]	19,000
0523	スポーツ大会・合宿等開催助成金交付件数（件）	スポーツ大会・合宿等開催助成金の交付件数。	21 [R 5年度]	40
0524	松山市を文化的なまちだと思う市民の割合（％）	市民アンケートで、設問「あなたは松山市を文化的なまちだと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。	83.2 [R 6年度]	88.0
0525	中央商店街の新規出店数（件）※累計	松山中央商店街（大街道、銀天街、まつちかタウン）の新規出店数。	21 [R 5年度]	140

政策 06 人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】

政策別未来像 ▶ さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
現在の職場が働きやすいと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、就労している人のうち、設問「あなたは現在の職場環境が働きやすいと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		70.8 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
市内総生産（兆円）		市内で各経済部門の生産活動によって新たに生みだされた付加価値の貨幣価値額。産出額から中間投入（原材料、光熱費などの経費）を控除したもの。	1.7 [R 3年度]	1.7 以上 [R 9年度]
給与所得者等一人当たりの所得（千円）		総所得金額等を市民税納税義務者（給与所得者、事業所得者、年金所得者など）の人数で除したもの。	3,197 [R 5年度]	3,440 [R10年度]
施策 061 地域経済を支える人づくりの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0611	従業員の福利厚生への向上に取り組む企業の会員数（人）※累計	中小企業が単独では実施しがたい福利厚生を共同でサポートする「松山市勤労者福祉サービスセンター」の会員数。	5,813 [R 5年度]	6,300
0612	国家資格や公的資格等の資格取得者数（件）	キャリアコンサルタントや危険物取扱者等のキャリアアップにつながる国家資格や公的資格の資格取得補助の申請者数。	172 [R 5年度]	300
施策 062 地域産業の振興				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0621	大学関連ベンチャー企業数（件）※累計	経済産業省が実施する「産業技術調査（大学発ベンチャーに関する基礎調査）」に基づく、大学関連ベンチャー企業数。	14 [R 5年度]	38
0622	企業間連携に取り組んだ事業者数（件）※累計	本市の企業間連携（オープンイノベーション）促進奨励金を活用して、市内外のスタートアップ企業等との連携や協業を行った事業者数。	—	18
0623	販路拡大支援による商談件数（件）	松山圏域中小企業販路開拓事業での商談の実施件数。	272 [R 5年度]	350
0624	中心市街地商店街の空き店舗率（％）	中心市街地商店街（大街道、銀天街、まつちかタウン、道後商店街、ローブウェー街、南銀天街、市駅前商店街、花園町通り）の空き店舗の割合。	18.3 [R 5年度]	12.0
0625	認定農業者数（人）	認定農業者（今後5年間の農業経営計画を立て、計画の内容について市長の認定を受けた農業者）の人数。	960 [R 5年度]	960
施策 063 産業を支える基盤づくりの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0631	企業立地奨励制度の指定企業数（社）※累計	企業立地奨励制度に基づく指定企業数。	122 [R 5年度]	152
0632	防災対策済のため池の数（箇所）※累計	防災対策を行った防災重点農業用ため池の数。	7 [R 5年度]	60
0633	松山港のコンテナ取扱量（TEU）	松山港で取り扱うコンテナの量。	42,987 [R 5年度]	53,000
	松山空港の貨物取扱量（t）	松山空港で取り扱う貨物の量。	4,848 [R 5年度]	5,330

政策 07 まちとまちをつなぐ【交通】

政策別未来像 ▶ 自分に合った移動手段で、気軽に出かけられる				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
気軽に目的地へ移動しやすいと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「松山市は自分に合った移動手段で、気軽に目的地へ移動しやすい（出かけやすい）と思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		68.6 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
市内公共交通機関の利用者数（人）		市内公共交通機関（松山空港・松山観光港・JR・伊予鉄）の乗降客数。	30,911,000 [R 5年度]	31,170,000
施策 071 良好な移動環境の整備				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0711	中心市街地の放置自転車台数（台）	中心市街地で放置されている自転車の台数。	1,646 [R 5年度]	1,406
0712	公共交通の便利なまちだと思う市民の割合（％）	市民アンケートで、設問「あなたは松山市が公共交通の便利なまちだと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。	50.4 [R 6年度]	50.9
施策 072 交通基盤の整備				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0721	中之川通線・本町宝塔寺線の整備延長（m）	中之川通線・本町宝塔寺線の整備延長。	0 [R 5年度]	477
0722	松山空港発着運航便数（便）	松山空港で発着する航空機の運航便数。	29,166 [R 5年度]	32,000

政策 08 にぎわいと住みやすいまちをつなぐ【都市空間】

政策別未来像 ▶ 都会と田舎の住みやすさが共存している				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
松山市は住みやすいと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたにとって松山市は住みやすいまちですか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		92.2 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
中心市街地の通行者数*（人） * 3地点の平日・休日の年間合計を1月分に平均した数値		中心市街地の3地点（大街道一番町口、銀天街千舟口、銀天街四丁目西口）での、1～12月の平日・休日（各1日）の通行者の合計を1月分に平均した数。	36,800 [R 5年]	49,400 [R11年]
施策 081 にぎわいのある都市空間の形成				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0811	景観計画区域の指定数（地区）※累計	景観法に基づく、景観計画区域の指定を受けている地区の数。	9 [R 5年度]	11
0812	中心市街地の地価の平均（千円/㎡）	中心市街地の5地点の地価の平均。	406 [R 5年度]	431
0813	地籍調査の進捗率（％）	地籍調査の全体の計画面積のうち、実施済面積の割合。	49.0 [R 5年度]	53.2
0814	危険な空き家の除却の件数（件）※累計	市が実施している「老朽危険空き家除却補助」を活用して、危険な空き家が除却された件数。	226 [R 5年度]	466
0815	公衆無線LANの正常稼働率（％）	市内の公衆無線LAN「松山フリーWi-Fi」のサービスを正常に提供できた割合（計画メンテナンス時を除く）。	100 [R 5年度]	100
施策 082 安全な都市基盤の整備				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0821	まつやまマイロードサポーター登録団体数（団体）	市民ボランティアによる市道の清掃・美化活動を行う「まつやまマイロードサポーター事業」の登録団体数。	68 [R 5年度]	71
0822	上水道の基幹管路の耐震適合率（％）	上水道の基幹管路延長のうち、耐震適合性のある管路延長の割合。	41.7 [R 5年度]	48.0
0823	下水道の管渠改善率（％）	下水道管渠の総延長のうち、当該年度に更新した管渠延長の割合。	0.10 [R 5年度]	0.20

政策 09 豊かな自然と暮らしをつなぐ【環境】

政策別未来像 ▶ 自然を大事にして、環境にやさしい暮らしをしている				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
環境にやさしい行動をしていると思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは環境にやさしい行動をしていると思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		76.5 〔R 6年度〕
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
市全体の温室効果ガス排出量 (万t-CO ₂)		市全体で排出された地球温暖化の要因となる温室効果ガスの排出量をCO ₂ 換算で示した量。	392 〔R 3年度〕	317 〔R 9年度〕
施策 091 脱炭素・循環型まちづくりの推進				
取組 番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0911	松山市役所の温室効果ガス排出量(万t-CO ₂)	松山市役所から排出された地球温暖化の要因となる温室効果ガスの量をCO ₂ 換算で示した量。	10.2 〔R 4年度〕	7.3 〔R10年度〕
0912	ごみのリサイクル率(％)	ごみの排出量のうち、再資源化されたごみの量の割合。	17.6 〔R 5年度〕	25.4
0913	廃棄物許可業者等に対する行政処分件数(件)	廃棄物許可業者等の不適正処理に対する行政処分の件数。	0 〔R 5年度〕	0
施策 092 自然と共生するまちづくりの推進				
取組 番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
0921	環境に関する講座、イベント数(回)	高校生までを対象とした環境学習会や講座、イベントの実施回数。	85 〔R 5年度〕	97
0922	自然に関する講座、イベント数(回)	市が開催する自然学習会等の実施回数。	17 〔R 5年度〕	23
0923	光化学スモッグ注意報の発令日数(日)	本市で光化学スモッグ注意報が発令された日数。	0 〔R 5年度〕	0

政策 10 安全と安心をつなぐ【安全・安心】

政策別未来像 ▶ 災害への備えがあり、安心できる				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
日頃から災害に備えていると思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたは日頃から災害に備えていると思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		54.5 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
防災士数（人）※累計		防災士の資格を取得した市民の人数。	9,526 [R 5年度]	15,000
施策 101 地域の防災力向上				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1011	食料備蓄数（食）	本市の備蓄のうち、食料の備蓄食数。	124,900 [R 5年度]	124,900
1012	防災士フォローアッププログラムの受講者数（人）※累計	防災士フォローアッププログラムとして毎年開催する講座の受講者の合計値。	—	2,400
1013	各自主防災組織による防災訓練の実施総数（回）	各自主防災組織が実施する防災訓練の実施回数の合計値。	745 [R 5年度]	800
1014	耐震改修を実施した住宅の戸数（件）※累計	市が実施している「木造住宅耐震改修等補助事業」を活用して耐震改修を実施した住宅の戸数。	668 [R 5年度]	1,058
施策 102 消防・救急・救助体制の整備				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1021	えひめ救急電話相談 #7119 事業の利用者数（件）	えひめ救急電話相談 #7119 の利用者数。	7,800 [R 5年度]	10,560
1022	消防団員訓練等参加延べ人数（人）※累計	訓練や研修会などへ参加した消防団員の延べ参加人数。	11,200 [R 5年度]	78,400
施策 103 防犯・交通安全・消費者保護の推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1031	刑法犯検挙者数中の再犯者数（人）	刑法犯検挙者のうち、再犯者の人数。	385 [R 5年度]	283
1032	交通事故の発生件数（件）	市内で発生する交通事故の発生件数。	1,020 [R 5年]	850 [R11年]
1033	消費生活講座（出前講座）参加者数（人）	市民生活課が実施する消費者生活講座（出前講座）の参加人数。	2,977 [R 5年度]	3,000

政策 11 つなぐを支える【連携】

政策別未来像 ▶ つながりがまちの活力になっている				
市民の実感指標		指標の説明		基準値
デジタル化で生活が便利になったと思う市民の割合（％）		市民アンケートで、設問「あなたはデジタル化で生活が便利になったと思いますか。」に対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合。		65.4 [R 6年度]
客観指標		指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
産学官連携数（件）※累計		民間等の力を活用し、行政サービスの向上や地域の課題に取り組んだ数。	15 [R 5年度]	97
社会移動数（転入-転出）（人）		「住民基本台帳人口移動報告」（総務省）を基に算出した転入者数と転出者数の差を、令和7年度以降の実績が判明している年数分足し合わせ、その年数で割り戻した数。	▲111 [R 1～5年の平均]	均衡以上 [R 7～11年の平均]
施策 111 連携の強化・促進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1111	産学官連携組織のイベント実施回数（回）	組織で開催するセミナーやワークショップ等の実施回数。	—	6
1112	他の地方公共団体との連携数（件）	連携自治体の一体的な発展や課題解決のため、他の地方公共団体との法定（地方自治法に基づく協議会、機関などの共同設置、事務の委託、一部事務組合、広域連合）及び法定外で連携している数。	133 [R 5年度]	139
施策 112 持続可能な行財政運営の推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1121	松山市人材育成・行政経営改革方針に掲げる指標の達成度（％）	松山市人材育成・行政経営改革方針に掲げる取組を達成した割合。	78 [R 5年度]	80
1122	担当業務にやりがいを感じている職員の割合（％）	担当業務にやりがいを感じている職員の割合。	62 [R 5年度]	67
1123	「健全な財政運営へのガイドライン」の数値基準の達成（％）	「健全な財政運営へのガイドライン」に定める財政指標のうち、数値基準を達成した指標の割合。	100 [R 5年度]	100
1124	公共施設の削減量（㎡）	平成28年度当初を基準に、削減した公共施設の保有量（延床面積）。	▲16,323 [R 5年度]	▲30,400 以上
施策 113 DXの推進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1131	行政手続のオンライン利用率（％）	オンライン化済の手続きのうち、オンライン申請の割合。	60.0 [R 5年度]	70.0
1132	業務システムの適正稼働率（％）	継続的な住民サービスの提供と安定した行政運営のために、計画メンテナンス時を除き、システムが安定稼働した割合。	100 [R 5年度]	100
1133	育成したデジタル人材の数（人）※累計	職員研修で育成した、デジタル人材の数。	—	160
施策 114 市民参画と広報・広聴の促進				
取組番号	成果指標	指標の説明	基準値	目標値 (R11年度)
1141	市が開催する意見交換に参加した人の数（人）	まちかど講座やタウンミーティングに参加した人の数。	6,025 [R 5年度]	6,240
1142	市 LINE 公式アカウントの利用登録者数（人）	松山市の LINE 公式アカウントを利用するために「ともだち登録」している人の数。	104,226 [R 6年]	120,000 [R 11年]

<令和6年度 指標動向調査結果>

全153指標中、評価S(達成度100%以上)は57指標、評価C(達成度60%未満)は16指標で、主な指標と考察は下記のとおり。

評価 (達成度) (※)	R6
S (100%以上)	57
A (75%以上100%未満)	58
B (60%以上75%未満)	22
C (60%未満)	16

(※)指標実績に加え、達成度が算出できない場合は直近の進捗状況等も踏まえて評価。

<主な指標と考察>

評価	指標(抜粋)	R6目標値	R6実績	考 察
S	県外からの移住者数 ※累計	10,200人	13,054人	地方移住への関心が高まっている。
	観光客推定数	600万人	600万3,900人	インバウンドをはじめ観光需要が回復し、本市への来訪者が増えている。
	外国人観光客数	31万人	53万5,300人	
	防災士数 ※累計	8,300人	11,060人	市民の防災意識が高まっている。
A	児童クラブの利用児童数	6,439人	5,969人	放課後のこどもの安全な居場所へのニーズは高まっているが、支援員が不足している。
	公共交通機関 (郊外電車・路面電車・バス)の乗降客数	2,708万8千人	2,372万8千人	観光客の増加で利用者は回復傾向だが、コロナ前の水準には戻っていない。
B	シルバー人材センターを通じた就労者数	2,000人	1,417人	定年延長や継続雇用など、高齢者の就労環境が変化している。
C	まつやまNPOサポートセンターへの相談件数	1,500人	800人	コロナ禍の活動縮小の影響が長期化している。
	訓練奨励金認定者数	80人	33人	雇用情勢が変化し、訓練校への入校者数が減っている。

第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4つの基本目標のもと、15の政策、41の施策を示し、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

1. 基本目標に掲げる成果指標の進捗状況(令和6年度実績)

基本目標① つながる未来を応援する(少子化対策)

【令和6年度目標値】 合計特殊出生率 1.58

成果指標	基準値 (H30年度)	実績値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	実績値 (R6年度)
合計特殊出生率	1.40	1.30 (R1)	1.26 (R2)	1.30 (R3)	1.25 (R4)	1.21 (R5)

基本目標② 松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)

【令和6年度目標値】 社会移動数(R2～R6の平均) 均衡以上

成果指標	基準値 (H30年度)	実績値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	実績値 (R6年度)
社会移動数(転入数－転出数)(人) ※R2からそれぞれの年度までの平均	△74 (H27～R1の平均)	272 (R2)	290 (R2～3)	33 (R2～4)	△128 (R2～5)	△230 (R2～6)

基本目標③ 魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)

【令和6年度目標値】 市内総生産 1.6兆円(R4)、観光客推定消費額 828億円

成果指標	基準値 (H30年度)	実績値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	実績値 (R6年度)
市内総生産(兆円)	1.6 (H28年度)	1.6 (H30年度)	1.8 (R1年度)	1.6 (R2年度)	1.7 (R3年度)	1.7 (R4年度)
観光客推定消費額(億円)	788 (H30年)	577 (R2年)	523 (R3年)	645 (R4年)	673 (R5年)	844 (R6年)

基本目標④ 住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)

【令和6年度目標値】 中央商店街への来街者数 107,120人、松山市に住み続けたいと思う人の割合 88.5%

成果指標	基準値 (H30年度)	実績値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R5年度)	実績値 (R6年度)
中央商店街への来街者数(人)	105,620	82,930	84,456	84,874	84,103	87,310
今後も松山市に住み続けたいと思う市民の割合(%)	86.0	83.0	82.7	82.3		81.4

2. 施策ごとの重要業績評価指標(KPI)の進捗状況(令和6年度実績)

基本目標① つながる未来を応援する(少子化対策)に係る9施策

達成状況：◎→R6年度の実績値が目標値を達成している。○→R6年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R6年度の実績値が基準値を下回っている。

政 策					
施 策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成状況
1 ライフデザインの構築					
①若者世代の人生設計(ライフデザイン)の構築に向けた支援	ライフデザイン講座受講後のアンケートで、ライフデザインを考える参考になったと答えた受講者の割合(%)	-	92	100	◎
②子育て世帯を含めた女性活躍推進のためのキャリア支援	本市の支援制度を利用して職場復帰を果たした人数(人)※累計	6	35	18 (R2)	○
	松山市男女共同参画推進センターの「まどんな応援企業」認証団体数(団体)	74	88	119	◎
2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現					
①仕事と生活の調和の実現	ワーク・ライフ・バランス等の講座の開催回数(回)	77	94	92	○
3 出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実					
①出会いの場の創出	イベントでのカップル成立数(組)※累計	73	354	389	◎
②妊娠・出産支援の充実	不妊治療費助成(特定不妊治療・一般不妊治療)の申請件数(件)	630	1,100	996	○
③小児医療の充実	小児救急医療体制が確保されている時間割合(%)	100	100	100	◎
④子育て支援の充実	利用者支援事業(保育・幼稚園相談窓口、くーふあん、すくすくサポート)の利用件数(件)	9,236	18,370	16,877	○
⑤子育て世帯の経済的負担軽減	愛顔っ子応援券(おむつ券)の交付件数(件)	2,229	2,229	1,528	△
⑥子育て拠点や居場所づくりの充実	児童クラブの入会児童数(人)	5,255	6,439	5,969	○

基本目標② 松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)に係る7施策

達成状況：◎→R6年度の実績値が目標値を達成している。○→R6年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R6年度の実績値が基準値を下回っている。

政 策					
施 策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成状況
1 定住の促進					
①松山を「知る」機会の充実	松山アンバサダーによる情報発信件数(件) ※累計	-	600	1,133	◎
2 移住の促進					
①都市イメージの向上	本市プロモーション活動における情報接触人数(人)	364,000	435,000	448,000	◎
②移住相談体制の充実	移住に関する相談人数(人) ※累計	733	5,200	7,132	◎
③関係人口の拡大	Uターンによる転入者数(人) ※累計	-	11,000	17,107	◎
④移住体験・機会の充実	定住促進施設の利用後に定住した世帯数(世帯) ※累計	2	20	19	○
	移住ツアー等に参加して移住した世帯数(世帯) ※累計	2	85	190	◎
⑤移住者の定着支援体制の充実	空き家バンクを活用した県外移住者数(人) ※累計	6	57	82	◎
3 大学等との連携・協働					
①高校・大学等と連携した若者の定着・流入促進	地元大学との連携事業数(件) ※累計	87	618	754	◎

基本目標③ 魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)に係る14施策

達成状況：◎→R6年度の実績値が目標値を達成している。○→R6年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R6年度の実績値が基準値を下回っている。

政 策					
施 策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成状況
1 産業の競争力強化(業種横断的取組)					
①ICT等の利活用によるビジネス創出や生産性向上	RPA指定企業数(企業) ※累計	-	36	30 (R4)	○
②各種団体との連携による新たなビジネスの創出・スタートアップの支援	市の支援制度や関係機関との連携事業により創業した中小企業事業所数(事業所) ※累計	614	1,550	1,226	○
③中小企業の支援	松山圏域中小企業は販路開拓市での商談件数(件) ※累計	1,199	3,000	2,787	○
④企業のグローバル化支援	台湾企業との商談件数(件) ※累計	-	60	41	○
⑤各種データの提供・分析・活用	松山観光WEBサイト閲覧数(PV:ページビュー)	1,176,123	1,746,000	1,334,149	○
2 産業の競争力強化					
①持続可能な産業立地の促進	新規立地及び増設をした指定企業数(企業) ※累計	97	127	127	◎
②戦略的観光振興による域内経済活性化	外国人観光客推定数(万人)	21.7	31.0	53.5	◎
③魅力的な農業の成長産業化	認定農業者である法人数(法人) ※累計	42	63	63	◎
④文化・芸術・スポーツ等の地域資源を活用したビジネス創出	松山市スポーツ大会・合宿等開催助成金を交付した大会・合宿開催件数(件)	42	45	29	△
3 良質な雇用場の創出と人材の育成・確保					
①人手不足の解消	外国人受入企業支援数(件)	-	50	0	△
②職業能力向上と多様な就業機会の拡充	テレワーカーとして育成された人数(人) ※累計	642	904	853 (R3)	○
③農業の担い手育成	県調査による松山市の新規就農者数(人) ※累計	-	120	109 (R5)	○
④良質な雇用・労働環境の整備	松山しごと創造センター利用者のうち就職者数(人) ※累計	48	950	1,539	◎
⑤地域ニーズに対応した人材育成支援	健全な職業観・勤労観に関する講座開催回数(回) ※累計	59	149	209	◎

基本目標④ 住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)に係る11施策

達成状況：◎→R6年度の実績値が目標値を達成している。○→R6年度の実績値が基準値を上回っているまたは同等。△→R6年度の実績値が基準値を下回っている。

政 策					
施 策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R6年度)	達成状況
1 持続可能な社会構築					
①SDGsの推進	SDGsの市民認知度(%)	5.4	50.0	51.3 (R4)	◎
①SDGsの推進	松山市SDGs推進コンダクターの派遣学校数(校) ※累計	-	50	51	◎
2 生活の質と都市力の向上					
①民間経済の活力創出と都市 機能・居住環境の向上	市街地再生開発事業等の施工地区数(地区) ※累計	-	2	0	△
	路面電車の1日当たり利用者数(人)	19,802	19,800	17,783	△
②安全・安心な暮らしの推進	実質赤字比率	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保 (R5)	◎
	連結実質赤字比率	黒字の確保	黒字の確保	黒字の確保 (R5)	◎
	実質公債費比率(%)	7.5	10%未満	7.8 (R5)	◎
	将来負担比率(%)	58.2	100%未満	20.3 (R5)	◎
	重要施設への給水ルートの耐震化状況(箇所) ※累計	20	35	35	◎
	耐震補強工事の補助件数(件) ※累計	500	905	713	○
	歩道整備延長(m) ※累計	3,632	4,362	4,891	◎
③誰もが楽しめるスポーツ・文 化の充実	公民館対抗スポーツ大会の参加者数(人)	2,469	2,600	1,780	△
④健康寿命の延伸	運動を主とした自主活動グループ支援数(団体) ※累計	241	420	233	△
⑤環境に配慮したまちづくり	松山市域からの温室効果ガス排出量(t-CO2)	4,328,834 (H28年度)	3,953,663 (R4年度)	3,484,252 (R4年度)	◎

政 策					
施 策	重要業績評価指標<KPI>	基準値 (H30年度)	実績値 (R6年度)	目標値 (R6年度)	達成状況
3 人口減少等を踏まえた既存のストックのマネジメント強化					
①官と民の既存ストックのマネジメント強化	公共施設等総合管理計画・個別施設計画策定及び公共施設等総合管理計画改訂の件数(件) ※累計	5	12	12	◎
4 近隣地域との連携による経済・生活圏の形成					
①連携中枢都市圏構想の推進	個別連携協定等締結数(件) ※累計	13	18	19	◎
5 住民が地域防災の担い手となる環境の確保					
①地域防災力の向上	防災士数(人) ※累計	4,300	7,700	11,060	◎
6 誰もが活躍できるふるさとづくりの推進					
①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり	市民活動推進補助金(次世代育成支援)交付団体数(団体) ※累計	21	56	60	◎
	まちづくり協議会設立地区数(地区) ※累計	30	41	33	○
	地域応援まちづくり講座への参加人数(人)	20	25	60	◎
②多文化共生の推進	外国語としての日本語教室への登録者数(人)	208	230	135	△

地方創生2.0

地域の産官学金労言※の関係者が知恵を出し合い、希望・熱量・一体感を取り戻す形で、新たな地方創生施策（「地方創生2.0」）を展開。

※ 産：産業界、官：地方公共団体や国の関係機関、学：大学等の教育機関、金：金融機関、労：労働団体、言：報道機関

取組

- 「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置し、**今後10年間の基本構想**を策定
- 「**新しい地方経済・生活環境創生交付金**」を創設

（出典）各地方公共団体ウェブサイト等

① 農林水産業や観光産業等の高付加価値化

＜魚介類の特産品
（北海道上ノ国町）＞



＜古民家をリノベーションした
観光拠点施設（徳島県美馬市）＞



② 買物、医療、交通など、日常生活に不可欠なサービスの維持向上

＜道の駅を核とした買い物拠点（長野県豊丘村）＞



＜オンライン診療車
（長野県伊那市）＞



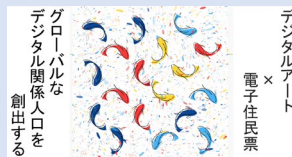
③ デジタル新技術を活用した付加価値創出

＜スキーNFT（※1）「ニセコパウダートークン」
（北海道ニセコ町）＞



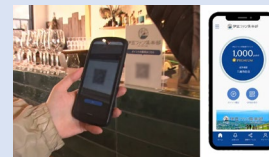
（※1）Non Fungible Token（非代替性トークン）の略。

＜山古志DAO（※2） 錦鯉アートNFT
（新潟県長岡市山古志地区）＞



（※2）Decentralized Autonomous Organization（分散型自律組織）の略。

＜「伊豆ファンクラブ」（地域通貨を用いた観光振興）
（静岡県三島市・熱海市・函南町）＞



＜AIを用いた牛の健康管理
（北海道中標津町）＞



- 地方創生の交付金を**当初予算ベースで倍増**することを目指す

目指す将来像

地域の可能性が最大限に引き出され、すべての人が希望と幸せを実感する社会の実現

関連する法令・予算

・新しい地方経済・生活環境創生交付金（予算／内閣府）

新しい地方経済・生活環境創生交付金について

新しい地方経済・生活環境創生交付金

第2世代 交付金

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押し。

最先端技術教育の拠点整備・実施
(ソフト・ハードの一体的支援)



農産物直売所・多世代
交流施設の一体的な整備
(分野横断的な支援)



地域の多様な主体が参画する
仕組みの構築



国の伴走支援の強化



デジタル実装型

デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に
資する取組を支援

書かない窓口



地域アプリ



オンライン診療



地域防災 緊急整備型

避難所の生活環境を抜本的に
改善するため、地方公共団体
の先進的な防災の取組を支援

地域産業構造 インフラ整備推進型

半導体等の戦略分野における
国家プロジェクトの産業拠点
整備等に必要となる関連イン
フラの整備を機動的かつ追加
的に支援

事業概要【「ことば」を軸とした文化芸術による関係人口拡大事業】

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	481,297千円 (81,509千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の「ことば」文化を活用した取組の展開で、関係人口の構築を図る ・「ことば」や「俳句」の聖地として観光誘客を図る ・様々な「ことば」の取組を官民協働で行うことで、市全体で地域愛を醸成する 		
事業概要・ 主な経費	<p>○2020年に応募された「ことば」を活用したPR事業や松山市文化芸術振興計画に掲げる「市民全員が“まつやま文化人”」を目指した事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばのちから事業実施のための負担金 4,356千円 ・文化振興のための負担金 16,940千円 <p>○インターネットサイト「俳句ポスト365」の運営や俳句甲子園の開催を通じて、俳都松山の発信と俳句人口の拡大を図り、関係人口拡大を狙う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句ポスト運営のための委託料 4,213千円 ・俳句甲子園開催のための負担金 21,000千円 <p>○松山アーバンデザインセンターを核とした地域密着の人材育成を行うことで民間主導のまちづくりへの移行を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山アーバンデザインセンター運営のための負担金 35,000千円 		
	<p>(事業イメージ)</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①松山市への移住者数 (+78人) ②俳句甲子園全国大会のために松山を訪れたOBOGの人数 (+14人) ③「ことばのちから」や「松山ブンカ・ラボ」のイベントの参加者数 (+940人) 	関連URL	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html


事業概要【多様な人材活用による仕事づくり推進事業】

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,000千円 (19,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・市内企業の人手不足に対し、都市部の複業人材のマッチングを支援し、域外の人材を活用することで解決に繋げる。</p> <p>・また、複業人材を活用することで、首都圏等の人材を活用した関係人口の創出を図ることができるほか、多様化する労働ニーズに応え、さらには女性活躍の推進や生涯現役のまちづくりの推進など、多角的な効果を得ることができる。</p> <p>・雇用管理の手法等を見直す必要性を認識している企業に対して、業務の見直しや細分化等、企業の労働条件の整備を支援することで、地元の若者の就職先として選ばれる魅力的な企業へと成長できる。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○市内中小企業等と都市部複業人材等とのマッチング支援 (委託料) : 19,000千円</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体企画・広報活動費 ②地元企業・都市部人材向けセミナー運営費 ③現地フィールドワーク・マッチングフォローアップ運営費 ④講師等謝礼 ⑤講師等旅費 ⑥コミュニティ構築・交流イベント運営費 		
	<p>(事業イメージ)</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①事業を通じてのマッチング人数 (関係人口) (+65人) ②労務改善を実施した企業数 (+30人) 	関連URL	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

事業概要【第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業】

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	407,246千円(76,685千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野（詳細）	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルツーリズムの誘客を通じて、滞在時間の延長による観光消費額の拡大を図る ・また、ツーリズムに訪れた若者たちに対して、関係性の維持・深化につながる取組を一体的に実施することで、松山市を第2のふるさととして、多様な形で関わる新しい人の流れを生み出す ・ソフト・ハード事業を一体的に取り組むことで、サステナブルツーリズムをビジネスとして実施できる体制を整備する 		
事業概要・ 主な経費	<div> <div> <p>○太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティ及びE-Bikeの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの運営（委託料）495千円 ・グリーンスローモビリティの維持管理（修繕料、保険料、消耗品等）1,190千円 <p>○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームの運営（負担金）6,000千円 ・情報発信等（委託料）2,000千円 <p>○サステナブルツーリズムを実施・発展できる体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊型SDGs体験旅行プログラムの作成（負担金）2,500千円 ・旅行商品化の推進（負担金）19,000千円 ・SDGs修学旅行の誘致（負担金、消耗品等）7,500千円 ・情報発信等（委託料）35,000千円 ・多言語対応などの受入環境の整備（負担金）3,000千円 </div> <div> <p>(事業イメージ)</p> </div> </div>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①サステナブルツーリズムの利用者数(+15,000人) ②サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合(+39.0%) ③ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数(+700人) ④グリーンスローモビリティの走行距離(+7,350km) 	関連URL	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

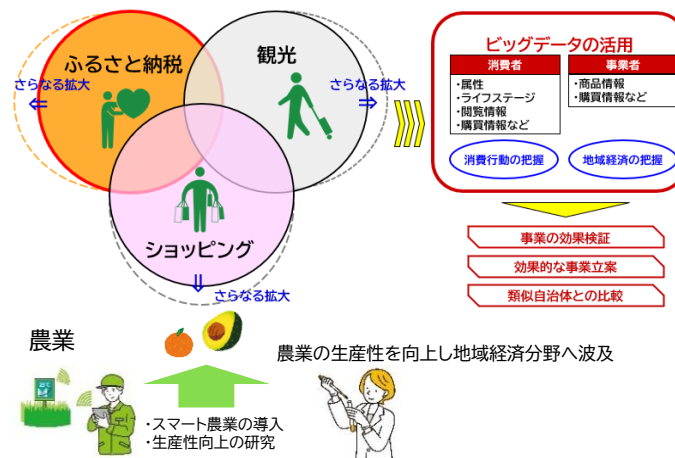
事業概要【若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業】

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	266,918千円 (105,366千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のまちづくりの担い手となる若年層をターゲットに大都市圏からの移住促進 ・本市在住の若年層への定住促進 ・“ふるさと松山”に愛着と誇りを持つことで、「松山に住み続けたい」「進学や就職で松山を離れたとしても、いつかは松山で暮らしたい」「何らかの形で貢献したい」と思う若年層に満ちた都市を目指す 		
事業概要・ 主な経費	<p>○SNSを通した市内外の若者の本音を聴取・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルリスニング (委託料) : 1,980千円 <p>○若者をターゲットとしたコンテンツ作成や、国内ファッションイベントと連動した本市の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ作成 (委託料) : 10,450千円 ・デジタルコミュニティの作成 (委託料) : 12,470千円 ・地元企業との商品開発等 (委託料) : 15,070千円 ・イベント関連事業 (負担金) : 20,000千円 <p>○移住者や子育て世代の地域コミュニティへの参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進事業 (委託料) : 10,884千円 ・松山市防災推進協議会負担金 : 11,000千円 <p>○クロスメディアによる松山情報のタッチポイント増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアプロモーション、情報発信等 (委託料) : 23,512千円 	<p>(事業イメージ)</p> 	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数 (+600人) ②若者文化賑わい創出事業の市民参画者数 (+40人) ③本市に関するポジティブツイート件数 (+60,000件) ④発信した情報への接触人数 (+81,100人) 	関連URL	<p>【松山市HP】</p> <p>https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html</p>

事業概要【デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業】

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,484千円 (34,288千円)
事業タイプ ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野 (詳細)	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<p>・地域産業や観光関連産業、農林水産分野においてデジタル技術や新技術の活用による効率化や参入ハードルの低下、データマーケティングによるターゲット層の分析、充実した雇用機会や収益の向上、エビデンスに基づいたプロモーション戦略等を付加</p> <p>・地域産業のデジタル化やデータ分析に基づいた効率的な施策の実施により、関係人口の拡大、地域産業の活性化、実需の創出等につなげ、全国から選ばれるまちとなる</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○ デジタルマーケティングの手法を活用した地域産業及び観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト等を活用した販売促進・観光振興 (委託料) : 27,500千円 ・人材育成プログラム作成等 (委託料) : 1,556千円 ・デジタルマーケティング、データ分析 (使用料) : 924千円 <p>○ 先端機器を活用したスマート農業の促進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の研修、体験会 (備品、消耗品費) : 2,723千円 ・大学との共同研究 (委託費、消耗品費) : 1,585千円 		
KPI	<p>① 地域における新規雇用者数 (+60人)</p> <p>② 参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額 (+30.63億円)</p> <p>③ 物産購買と観光のクロス利用者数 (+3,815人)</p> <p>④ スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合 (+50%)</p>	関連URL	<p>【松山市HP】</p> <p>https://www.city.matsuyama.ehim.e.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html</p>

(事業イメージ)



「SDGs未来都市まつやまの実現に向けた安全安心なみちづくり計画」【愛媛県松山市】

計画概要

- 本市の農村地域は、自然や文化に関連する地域の歴史資源が豊富に存在する地域であるが、道路の改良率が低く、舗装状態の悪い箇所や道路幅員が狭い箇所が見受けられ、地域住民や観光客などが安全安心に利用できる道路環境の整備が不可欠となっている。さらに、林業従事者の高齢化に伴う労働力の減少や林道の未整備により、間伐作業に遅れが生じており、林業の生産性も停滞している状況である。
- そのため、市道と林道を一体的に整備することにより、地域の歴史資源等を安全に回遊出来る道路ネットワークを構築するとともに、生産効率を改善し農林業の振興を図る。農林業の振興により森林等の適正管理を維持・改善し、水源かん養等の公益的機能の向上を図り土砂災害の防止を図る。また、経営基盤の安定により農林業従事者の離職を防ぎ、更には新たな雇用を生み出し地域の定住者を増やすなど「SDGs未来都市計画」(2020年松山市策定)の実現に向けた安全と安心が実感できるみちづくりを目指す。

地域再生計画の区域

松山市の全域

計画期間

令和4年度～令和8年度

地域再生計画の目標

項目	現状	目標
交通事故発生件数の縮減	1,039件	804件
木材生産量の増加	777m ³	900m ³
Uターン転入者の促進(累計)	4,977人	14,977人

※計画終了後に数値目標に照らし状況を調査、評価し公表する。

地域再生を図るために行う事業

＜地方創生整備推進交付金（道の整備事業）＞

市道：2,980m 林道：980m

- ・総事業費 784百万円（うち国費 388百万円）
- ・市道 696百万円（うち国費 348百万円）
- ・林道 88百万円（うち国費 40百万円）

＜その他の事業＞

- ・交通安全施設等整備事業
- ・生活道路整備事業
- ・水源かん養林整備の推進（新たな水源かん養林事業）
- ・Uターンによる転入の促進

地域再生のイメージ



新しい地方経済・生活環境創生交付金 第2世代交付金(旧:デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))の効果検証

類型	No	交付対象事業の名称	事業概要	R6年度 交付金 受入額	KPI(単位未満は四捨五入)		
					項目	R6目標	R6実績
ソフト 事業	1	「ことば」を軸とした文化芸術による 関係人口拡大事業 【R2-R6】	○文化的なまちを推進する取組 ・2020年に応募された「ことば」の活用や、シンポジウム等を実施 ○関係人口を拡大する取組 ・「俳句ポスト365」の運営や、俳句甲子園全国大会を実施 ○民間主導のまちづくり ・市民参加型学習プログラム「アーバンデザイン・スマートシティスクール 松山」を開講	35,850千円	松山市への移住者数	550人	3,095人
					俳句甲子園全国大会の ために松山を訪れた OBOGの数	44人	71人
					「ことばのちから」や 「松山ブン・カ・ホ」の イベント参加者数	4,678人	4,441人
	2	多様な人材活用による仕事づくり 推進事業 【R2-R6】	○都市部の複業人材等を活用した人手不足対策支援 ・都市部の複業人材と市内企業のマッチングプログラムをオンライン中心 で実施 ○短時間勤務を活用した企業労務改善事業 ・松山しごと創造センターで、創業予定者や企業経営者等を対象に経営 課題の解決や戦略による打開策の相談を実施	8,000千円	事業を通じてのマッチング人数 (関係人口)	65人	82人
					労務改善を実施した企業数	30社	30社
	3	第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業 【R3-R7】	○グリーンスローモビリティ活用事業 ・グリーンスローモビリティを観光客等へ貸出し、移動の脱炭素化、観光 振興につなげた ・ソーラーカーポートで発電した再エネ電力の一部をグリーン電力証書化 ○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームを支援 ・地域課題の解決等に向けた活動を行うプラットフォーム(SDGs推進 協議会)を支援 ○サステナブルツーリズム推進事業 ・民間企業とタイアップし、自然体験や食体験を通したSDGs旅行商品を 販売・PRするなど、SDGsを核とした体験型の修学旅行や周遊観光を 促進し、滞在時間と観光消費額を拡大	29,555千円	サステナブルツーリズムの 利用者数	前年度+3,500人	前年度+1,651人 (単年:23,928人)
					サステナブルツーリズムの 利用者のうち、地方への移住 又は通学に興味を持った割合	前年度+9%	前年度-8.5% (単年:9.9%)
					ほしふるテラス姫ヶ浜の 利用者数	前年度+150人	前年度-1,053人 (単年:2,921人)
					グリーンスローモビリティの 走行距離	前年度+1,750km	前年度+882km

新しい地方経済・生活環境創生交付金 第2世代交付金(旧:デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ))の効果検証

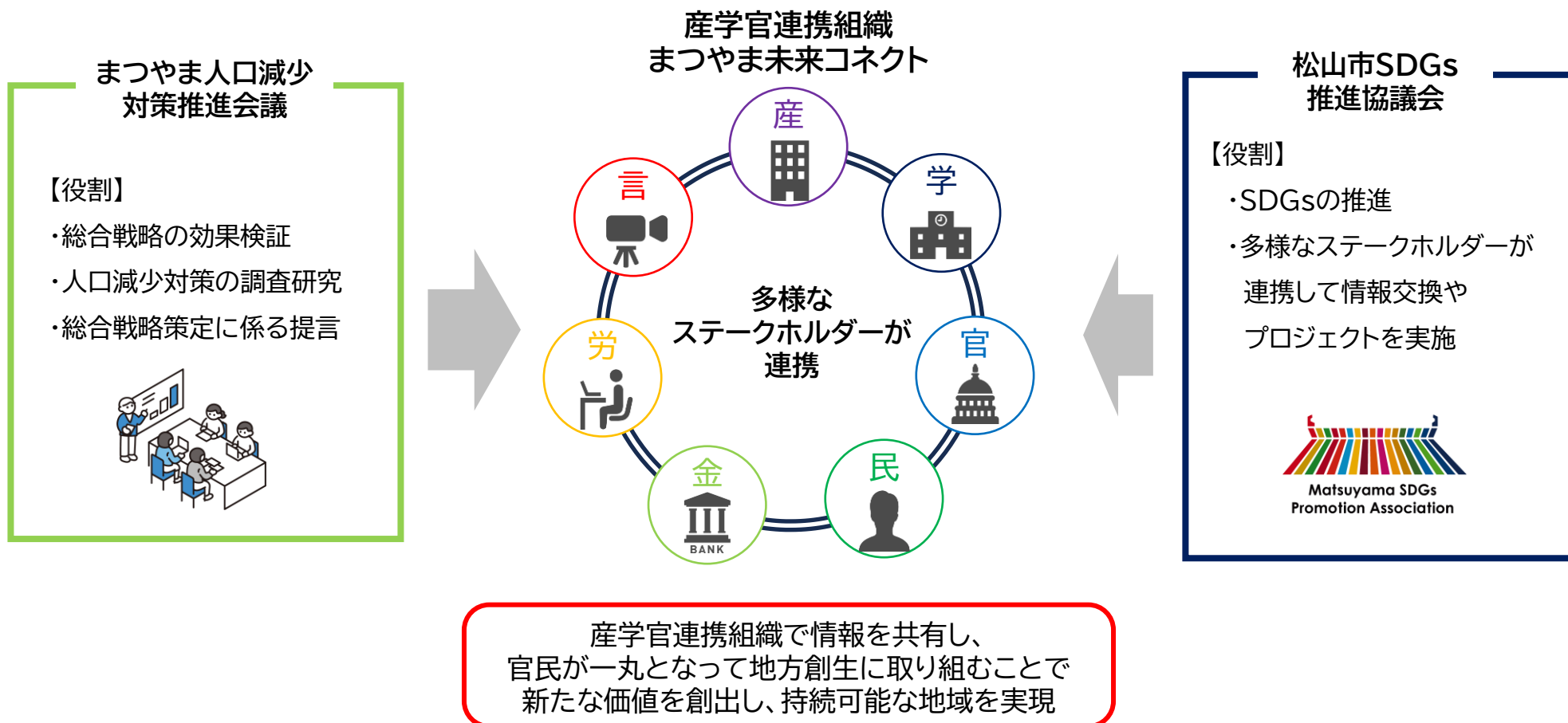
類型	No	交付対象事業の名称	事業概要	R6年度 交付金 受入額	KPI(単位未満は四捨五入)		
					項目	R6目標	R6実績
ソフト 事業	4	若者視点に立った新たなまちの魅力 創造事業 【R6－R8】	○若年層に魅力のあるコンテンツ ・松山市が舞台の映画「がんばっていきまっしょい」の公開に合わせ、 ウェブサイトの開設や、NFTが取得できるARデジタルスタンプラリー等を開催 ・地元学生で「マツワカ」を結成し、地元企業との商品開発や企業紹介 リーフレットの制作、イベントを実施 ・若者を対象としたファッションイベントTGCと連動し、ユースカルチャー を発信、体感するイベント「JAMCLAP MATSUYAMA」を開催 ○住みたいと思えるまちづくり ・移住促進のため、ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、移住ツアー などの体験機会の充実、東京・大阪での移住フェアに出展し、移住検討者に 松山の暮らしの魅力を紹介 ・小中高校生の「ジュニア防災リーダークラブ」や大学生防災士「防災 リーダークラブ」と、自主防災組織や地元企業をつなぐ防災教育を実施 ○若者や女性をターゲットにした魅力発信 ・松山市が目指すまちの姿や大切にしていこう想いを紹介する「松山市 ブランディングサイト」を開設し、ブランドスローガンやロゴの紹介、PR 動画や市民インタビューなどを掲載 ・若い女性をターゲットに、松山を知り訪れファンになってもらうため “都会さあり、地方の魅力ありの松山”を効果的に発信できるようインスタ グラムを開設	47,911千円	地域へのUIJターン数(人)	前年度＋200人	前年度＋101人
					若者文化賑わい創出事業の 市民参画者数(人)	前年度＋20人	前年度＋54人
					本市に関するポジティブ ツイート件数	前年度＋20,000件	前年度＋35,000件
					発信した情報への接触人数	前年度＋47,100件	前年度＋159,133件
	5	デジタル技術やデータを活用した 戦略的な産業振興推進事業 【R6－R8】	○民間事業者と連携したデジタル活用による地域産業及び観光振興施策 の開始 ・楽天市場の「愛媛百貨店」や、楽天トラベルと連携し、クーポンやWEB 広告を活用した効果的なPRにより、購買意欲や宿泊旅行意欲の醸成、 観光誘客を促進 ・市内事業者向けのSNSやデータ活用等に関するセミナー開催や、物産、 観光、ふるさと納税に関するユーザー属性や消費行動、経済効果などを 分析し、経済及び産業の活性化を促進 ○まつやま農業の未来を見据えた投資の開始 ・公民連携窓口を活用し、スマート農機を扱う民間事業者によるドローン 農業・肥料の散布やバッテリー駆動型農機の体験研修会を開催 ・愛媛大学と連携し、アボカドの安定生産に影響する授粉を助ける昆虫 の動態や害虫の加害行動、果実品質への影響などの基礎研究を実施	16,828千円	地域における新規雇用者数	前年度＋20人	(R7.10月調査予定)
参加事業者EC売上額及び OTA経由宿泊予約額					前年度＋14.57億円	前年度＋9.26億円	
物産購買と観光の クロス利用者数					前年度＋1,488人	前年度-53人 (単年:9,547人)	
スマート農業に取り組んだ 新規就農者の割合					前年度＋10%	前年度＋29%	
小計(ソフト事業)			138,144千円				
道 整備	6	SDGs未来都市まつやまの実現に 向けた安全安心なまちづくり計画 【R4－R8】	○市道及び農道の整備 ・市道と林道を一体的に整備し、地域の歴史資源等を安全に回遊出来る 道路ネットワークを構築するとともに、生産効率を改善し農林業の振興を 図る ・農林業の振興により森林等の適正管理を維持・改善し、水源かん養等の 公益的機能の向上を図り土砂災害の防止を図る ・経営基盤の安定により農林業従事者の離職を防ぎ、更には新たな雇用を 生み出し地域の定住者を増やすなど「SDGs未来都市計画」(2020年 松山市策定)の実現に向けた安全と安心が実感できるまちづくりを目指す	108,071千円	交通事故発生件数の縮減	891件	1,013件
					木材生産量の増加	800㎡	9,307㎡
					Uターン転入者の促進(累計)	10,977人	17,107人
令和6年度交付金受入合計額				246,215千円			

議事概要

資料6

名 称		令和7年度 まつやま未来コネクト 評価委員会
事 務 局		総合政策部企画戦略課 政策経営・地方創生担当 T E L 089(948)6213 F A X 089(934)1804
開催日時		令和7年7月23日(水) 15時30分～16時15分
開催場所		松山市役所別館6階 第3委員会室
出席者	委 員	檀 裕也委員長, 影浦 紀子副委員長, 天野 通子委員, 井藤 留美委員, 釜野 鉄平委員, 中矢 斉委員
	事務局	総合政策部 部長 宇野 哲朗, 企画戦略課 課長 伊藤 智祥, SDGs推進担当課長 藤原 誠 ほか8名
議 題		第7次松山市総合計画の進行管理と評価委員会の役割等について
議事内容		<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1) 第7次松山市総合計画の進行管理と評価委員会の役割(事務局説明)</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合計画では、こどもたちの声をはじめ、市民の声を反映する仕組みが重要となる。総合計画は最上位計画であるため、個別事業計画で集めた市民の声も反映して、進捗管理を行う必要がある。 ・各分野で策定する個別事業計画は、総合計画の将来都市像を見据えた内容にする必要がある。今後、分野別個別計画の策定や指標の改訂にあたっては、市民の実感を示す指標を取り入れるなど、総合計画の指標と連動していくことが望ましい。 <p>(2) これまでの振り返り(第6次松山市総合計画及び 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)(事務局説明)</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標の実績の要因を細分化して分析することで、必要な取組を検討すべき。 ・コロナ禍が総合計画の進捗に与えた影響についても総括すべき。 <p>(3) 新しい地方経済・生活環境創生交付金の効果検証(事務局説明)</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林道の整備は、農業の生産効率性にも影響があり重要で、森林の多面的機能をいかすことで防災対策にもつながる。 ・地域の観光資源とリンクし、有効利用できる形で道が整備されているのも良い。 ・松山市は交通事故のニュースが多いので、事故の減少につながるよう、交付金を活用した道路整備を引き続き検討いただきたい。 ・J R松山駅周辺整備や中心市街地の活性化を含め、人口減少社会の中で、未来につながる投資的なまちづくりについて、産学官が共創して取り組めるよう、交付金の活用を進めてほしい。 <p>3. 閉会</p>

- 市が掲げる「将来都市像」の実現に向け、産学官がつながるプラットフォーム
- 既存の官民連携組織を統合し、人口減少対策やSDGsの推進などに包括的に取り組む
- 多様な主体が連携して地域課題の解決や新サービス、新技術の実装などの新たな取組に挑戦する



まつやま未来コネクト

第7次総合計画進捗評価への意見

① 情報共有

セミナー・ワークショップの開催
人口減少に関する調査・研究
小・中学校への出前講座

② 新たな価値創出

分科会の活動
企業の魅力向上事業
(まつやまコネクトラボプロジェクト)

③ 実証事業

公募等による提案事業



「人」がつながる



「まち」がつながる



「仕事」がつながる

①情報共有 セミナー等の開催

2025年 5月23日

スタートセミナー

【テーマ】

地域課題解決に必要な仕組みを考える

◆ 基調講演

株式会社パソナグループ

松村 卓司 氏

◆ パネルディスカッション

ユナイテッドシルク株式会社

河合 崇 氏

学校法人松山大学

檀 裕也 氏



2025年 6月19日

実践から考える 脱炭素のまちづくり

【テーマ】

実践から考える脱炭素のまちづくり
～分科会から始める新たな挑戦～

◆ 基調講演

株式会社日本政策投資銀行

加藤 翔 氏

◆ 分科会事例紹介

愛媛大学

李 賢映 氏



2025年 10月9日(予定)

産学官連携促進セミナー

【テーマ】

産学官連携を学ぶ

◆ 基調講演

株式会社官民連携事業研究所

鷲見 英利 氏

晝田 浩一郎 氏

◆ 取組紹介

松山市企画戦略課



②新たな価値創出 分科会の活動

スマートアイランドモデル分科会

離島・中島が抱える人口減少や少子高齢化、エネルギーの脆弱性などの地域課題を解決し、将来にわたって持続可能なスマートアイランドを実現する



太陽光発電設備の循環システム分科会

脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電設備の導入が進むなか、使用済みとなった太陽光発電設備を、地域で適切にリユース、リサイクル、処分する体制を構築



松山ユニバーサルツーリズム分科会

障がいがある児童・生徒の修学旅行の受入強化をきっかけに、短期的には地域経済を活性化し、長期的には社会・環境の課題解決をすることで、「持続可能な観光未来都市まつやま」を目指す



エコでクリーンな自転車の利用促進分科会

自転車を通じて地域の活性化と低炭素な社会を目指す



ジェンダーギャップ解消ラボまつやま

SDGsゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向けて、ジェンダーギャップ解消の意義やメリットを学び、ゴールとするまつやまの将来像を考える



創造クラス

持続可能な開発のための教育(ESD)を通じ、学生が日頃の活動で考えたアイデアを民間や行政などの前で発表し、交流する機会を創出する



②新たな価値創出 企業の魅力向上事業(まつやまコネクトラボプロジェクト)

- 産学官民が共創して松山の仕事に変革をもたらし、誰もが住みたくなる魅力的なまちの実現を目指すプロジェクト
- 企業と参加者がチームになり、企業の課題を解決するアイデアをブラッシュアップして実践する

参加企業	解決したい課題
協和道路株式会社	天然芝事業における、管理体制や利用促進、BtoBにおける販売網、販売戦略等
南海放送株式会社	南海放送ラジオのFM転換に際して、聴取ツールの1つであるradikoのダウンロード数の増加施策
SAUNiiiK合同会社	サウナを軸としたビジネス展開で安定して利益の出るモデルの構築とロードマップの作成
愛麺株式会社	高校生や大学生などの若年層からの認知度の低さ、製造業に対するイメージの低さの改善
愛媛県民球団株式会社	リーグ戦の集客(特に若年層～ファミリー層)におけるマンパイパークや各種イベントの集客
株式会社 砥部焼千山	コロナ禍を経ての観光バスの減少や窯元の高齢化、卸ルートの変化などの影響で市場規模縮小への対策
サイボウズ株式会社	サイボウズのノーコードツールkintoneを地域の情報共有ツールとして使ってもらうには

1 ビジネスプロブレムプレゼンテーション

日時 2025年 **9月27日** 土 まつやまの企業の
10:30～15:00 ※受付10:00～ プレゼンを聞いて、
課題解決のチームを結成！

2 ブラッシュアップキャンプ+共有会議

2025年
日時 **9月28日** 日 ～ **11月21日** 金 チームでアイデアを
まで各チームでブラッシュアップしていただきます。 まとめて新商品や
新サービスを生み出そう！

共有会議 日時 2025年 **10月19日** 日
10:30～15:00 ※受付10:00～





























3 成果報告会

日時 2025年 **11月22日** 土 生み出された商品や
10:00～15:00 ※受付9:30～ サービスをみんなに
お披露目しよう！

【主催】公益社団法人 松山青年会議所、松山市
【共催】まつやま未来コネクト

③実証事業 まつやま未来コネクト実証事業補助金

- 総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、地域課題の解決につながる先進技術や新たなアイデアを用いたトライアルの取組(実証事業)を支援
- 7件の実施が決定し、9月上旬より実証事業を開始した

事業者	テーマ	総合計画の分野	SDGs
南海放送株式会社	世界最先端Wi-FiセンシングAI技術を活用した高齢者見守りサービス「やさしいみまもり」松山市モデル実証事業	 福祉	  
河原デザイン・アート専門学校	アニメーション職業体験実証事業	 こども・教育	   
株式会社洒落	「採用強化」と「効率化」の二段構えで”選ばれる企業”をつくる実証事業	 経済・産業	  
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	職場におけるジェンダーギャップ解消をめざして～ジェンダーギャップ可視化webツール開発～	 共生社会・コミュニティ	   
株式会社ローカル大学	リーダー育成集中講座	 経済・産業	   
株式会社THSキャリア	松山中小企業デジタルマーケティング推進実証事業	 経済・産業	  
Fyneat株式会社	松山市内中小企業の経営課題の言語化事業	 経済・産業	